

開催地域において展開される事業の構成について

区分	事業の種類・内容	金額	備考(具体的な拠出先等)	
記憶に刻む	愛知県により整備される、愛・地球博記念公園の「アイデアのひろば」、「万博記念館」、及び「海上の森」において、愛・地球博の思い出や足跡を会場跡地に残し、万博開催の事実と成果を残したことを繰り返し伝え、愛・地球博へ寄せる人々の思いをいつまでも想起させるものとなるシンボリックな事業に支援を行う。	30億円の内数	愛知県が、事業内容、拠出先等について、早急に調整	
	愛・地球博の開催地である愛知の象徴である名古屋城本丸御殿が地元の公共団体・経済界・市民たち挙げての浄財により復元されるに際して、ここが「地球市民とモリゾー・キッコロのための迎賓館」として再生され、愛・地球博への思いをいつまでも想起させるものとするために、復元事業に支援を行う。	10億円	名古屋城本丸御殿積立基金	
繰り返し伝える	愛・地球博で実証され体験された環境技術等をはじめとする、伝統的技術の再生や最先端技術の実用化について、世界に向けて発信する事業を支援する(例えば、メッセ・ナゴヤ等)。また、在留外国人と地元住民の交流事業等の国際交流事業を支援する。	4億円	名古屋商工会議所に基金を造成(具体化につき、有識者を含む委員会等で検討)	
	環境技術に関する留学生または研究者の招聘事業や、観光・文化・芸術面、産業面、学術研究面での国際交流事業、「多文化共生」社会の実現に資する事業を支援する(例えば、グレイター・ナゴヤ・イニシアティブ、一市町村一国フレンドシップ継承事業等)。	環境技術研究者交流事業等 (県内及び近隣県の経済団体の事業を含む)	4億円	名古屋商工会議所及び(社)中部経済連合会の共同管理による基金を造成する方向で調整
		グレイター・ナゴヤ・イニシアティブ	2億円	(財)中部科学技術センター
		一市町村一国フレンドシップ継承事業		
遺産を具体的な形で実用化する	愛・地球博で実証され体験された環境技術等をはじめとする最先端技術分野において、日本経済を支え、国際社会に貢献することを目的とした科学技術研究及びそのネットワーク化の強化・高度化事業を支援する(例えば、科学技術交流センター構想、ナノテクセンター構想等)。	30億円の内数	愛知県が、事業内容、拠出先等について、早急に調整	
	科学技術交流センター構想			
	ナノテクセンター構想	4億円	(財)ファインセラミックスセンター	
	環境調査、里山保全、森林育成等の分野における市民活動または行政と市民との協働活動を支援する(例えば、「モリゾーとキッコロの庭」再生事業等)。	10.5億円±α		関係者及び有識者からなる委員会を設置し、支援対象事業、審査の仕組み等を検討
上記事業以外にも社会活動等意義のある同様の事業が出現することがあり得ることから、取り崩して利用できる基金を創設し、公募により広く事業を支援する。				